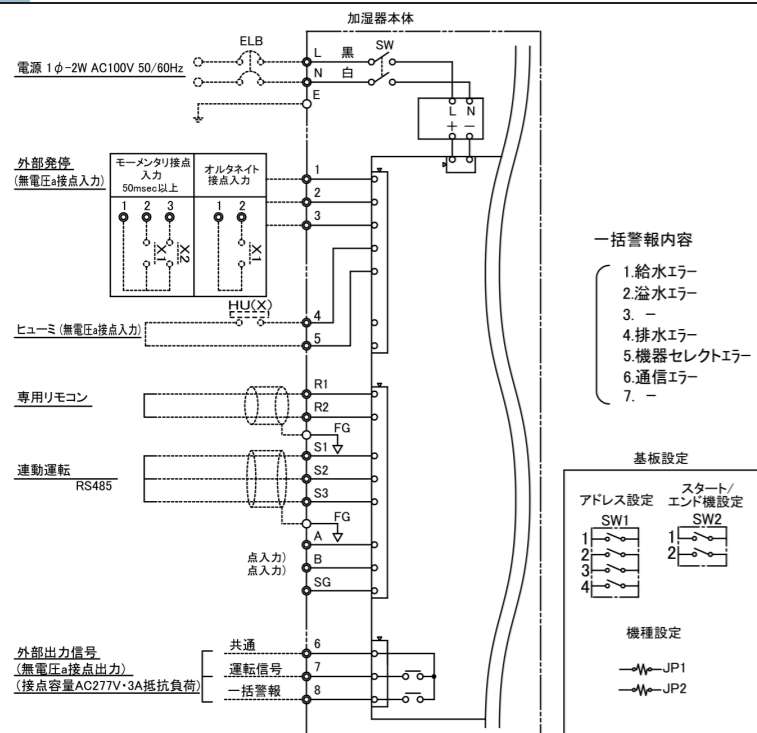
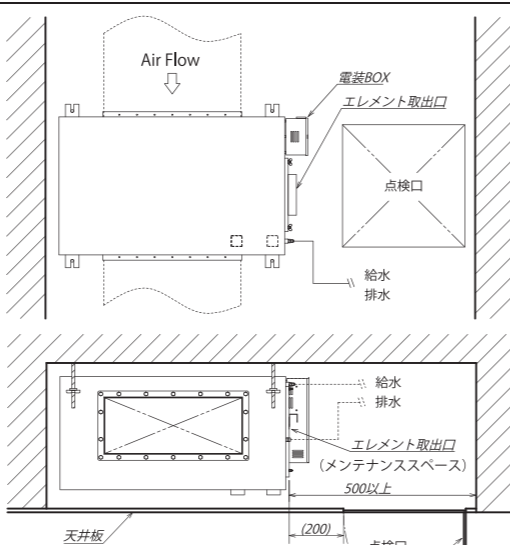


結線図



施工図



加湿器本体は水平に取り付けて下さい。  
接続ダクトには結露防止のため保温材を施行して下さい。  
加湿器本体記載の通風方向をご確認の上施行して下さい。  
エレメント取出口付近に450mm以上の点検口を設けて下さい。  
加湿器本体にダクトの加重がかからないように施行して下さい。  
エレメント取出口側に必ずメンテナンススペース500mm以上を設けて下さい。  
エレメント取出口前のメンテナンススペースには配管・配線・梁等が無いように施行して下さい。

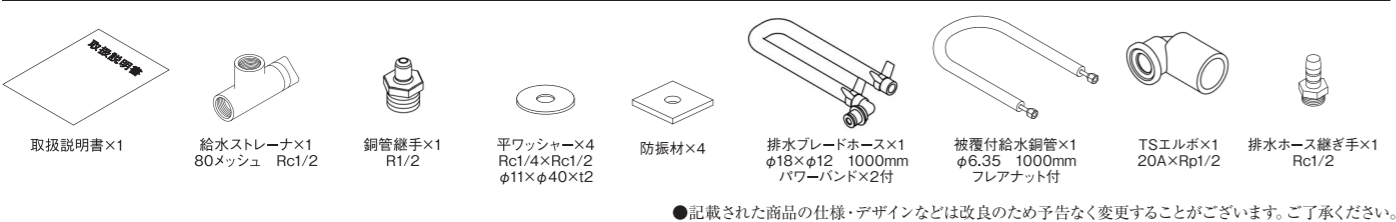
電気配線

電気工事士の資格を持つ方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および取扱説明書にしたがって正しく施工して下さい。電気回路容量不足や施工に不備があると、感電や火災の原因になります。  
加湿器の電源系統には、専用回路を使用し、加湿器専用の漏電ブレーカーを設けてください。  
アースはD種設置工事にて必ず施工して下さい。配線は、所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定して下さい。

注意事項・保守

環境によってはご使用できないような場合もありますので、事前に当社までご相談ください(例: 通気に腐食ガスや塩分、オイルミストを含む場所、空気中に塵埃を多く含む場所や金属塵埃が発生する場所、病院などの特殊空調など)。本製品の改造や当社指定品以外の部品交換は事故の原因となりますので絶対に行わないでください。  
加湿器用の給水管はシーズンオフ時には通水が無くなるため、残留水が腐敗する場合がありますので、シーズンイン前は配管のフラッシングを必ず行ってください。  
通常の保守は主に加湿エレメントの洗浄(交換)、給水ストレーナフィルターの清掃です。  
加湿エレメントは、使用することによって汚れが蓄積するため、定期的な洗浄が必要です。水質によりスケールの蓄積量は変化いたしますので、定期的に観察をし、洗浄サイクルを決めてください。  
加湿エレメントの交換時期は一般空調(年間約1200時間使用)でおおよそ3年が目安となります。保守点検は当社または専門業者に依頼し、点検前に必ず機器を停止し、電源を切ってから行ってください。

付属品



〈本社・工場〉 〒193-0832 東京都八王子市散田町5-6-19  
TEL.042-665-8846 (代) FAX.042-661-3887

東京営業所 TEL:03-5379-1461  
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-1-7  
コスモ新宿御苑ビル5階

名古屋営業所 TEL:052-385-3298  
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-21-23  
宇佐丸の内ビル8階

大阪営業所 TEL:06-6227-1317  
〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町1-7-14  
平野町グランドビル8階

福岡営業所 TEL:092-281-9241  
〒812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町1-31  
博多アーバンスクエア5階



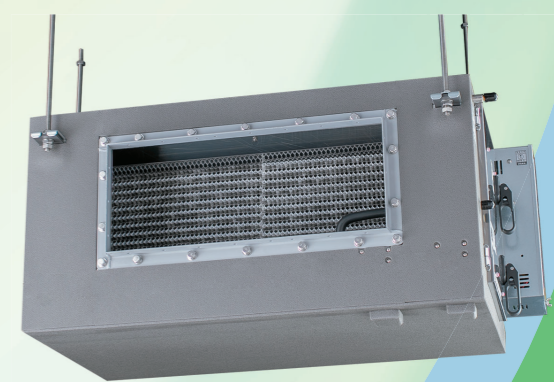
2025.11.10NK

ダクト接続型



電力消費の少ない省エネ加湿器

UC-DKFシリーズ



空調機や全熱交換器にそのままダクト接続可能な気化式加湿器  
使用電力は給排水と制御関係のみなので、省電力で加湿を行うことができます  
適用飽和効率72%の“L”シリーズと85%の“H”シリーズを取り揃えており、ダクトサイズや標準加湿能力に応じて3サイズを用意してあります  
自動フラッシング機能を標準搭載

設置例

病院

オフィス

データセンター

商業施設

# 製品概要

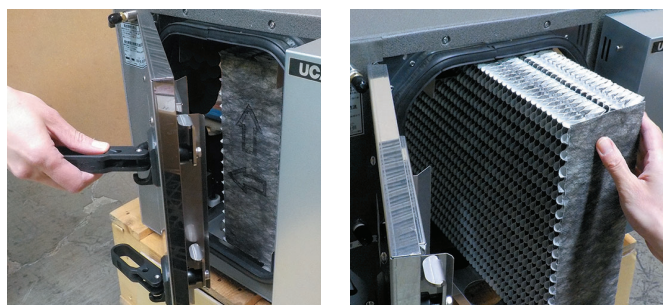
空調機や全熱交換器のダクトに直接接続できる気化式加湿器。  
 加湿のための直接エネルギーが非常に少なく省エネ加湿が可能です。  
 適用飽和効率は72と85%の2種類、本体は標準加湿能力に応じて3種類の大きさをラインナップ。  
 排水ポンプアップ機能を内蔵しています。

## 自動フラッシング機能標準搭載

ダクト接続型気化式加湿器UC-DKF型は自動フラッシング機能が標準搭載されています。  
 加湿器のシーズンオフ期間は約半年間、その間に給水管内の残留水が腐敗するリスクがあります。適切な処置を行わないと、運転再開時に腐敗した水が加湿エレメントに散水され、加湿器からの異臭やカビ・雑菌繁殖の繁殖原因にもなります。  
 これらを予防するためには運転再開前に水抜き作業が必要です。  
 UC-DKF型の自動フラッシング機能は、一定時間経過後の運転再開時に、自動で給水配管内の残留水を加湿エレメントに散水することなく機外に排出することで、水抜き作業の負担を減らし、常に清潔な水を供給します。

## 加湿エレメントの交換は工具フリー

気化式加湿器は構造上加湿エレメントが汚れやすく、シーズンオフは勿論のこと定期的なメンテナンスが欠かせません。本機種では加湿エレメントやフィルターの点検がしやすい構造になっています。



■工具不要で加湿エレメントの取り出しが可能

## 加湿エレメント〈ユーシーコア〉使用

加湿エレメント〈ユーシーコア〉は吸水性高分子複合ファイバーをハニカムに成形・積層・接着しているため、保形強度が高く、損傷が起きにくい構造です。また、食品衛生法に適合した無公害な材料を使用。カビ抵抗性試験、繊維製品の抗菌性試験に合格。難燃性はUL94規格HF-2相当で、二次火災の危険及び有毒ガスの発生もありません。臭気を取り込むポーラスが無く、表面に付着してもリリースされやすい構造となっており臭気発生リスクの少ない素材を使用しています。

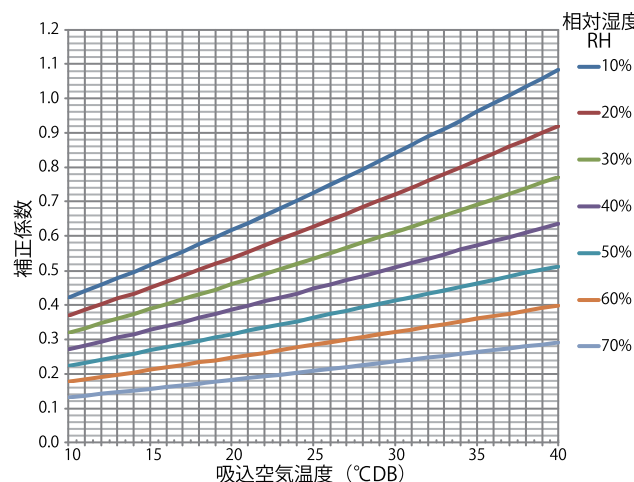
## UCスマートリモコン対応 〈UC-620A〉

加湿制御を個別化することで設置場所に応じた適切な運転制御が可能になり、結果無駄な加湿運転を抑制し省エネ性を向上させます。加湿器本体・リモコン本体に湿度センサーを標準で搭載、各設置場所の現在湿度を確認できます。リモコン1台で同型機器を最大10台まで連動運転が可能です。



## 加湿選定表

標準加湿能力は  
 吸込空気条件40℃15%RHの時の値



$$\text{加湿量 (kg/h)} = \text{標準加湿能力} \times \text{補正係数} \times \text{風量比}$$

風量比 (処理風量 / 標準処理風量)

型 式	標準加湿能力	標準処理風量
UC-DK600LF	4.2kg/h	600m <sup>3</sup> /h
UC-DK600HF	5.0kg/h	
UC-DK1200LF	8.5kg/h	1200m <sup>3</sup> /h
UC-DK1200HF	10.0kg/h	
UC-DK2400LF	16.4kg/h	2400m <sup>3</sup> /h
UC-DK2400HF	19.6kg/h	

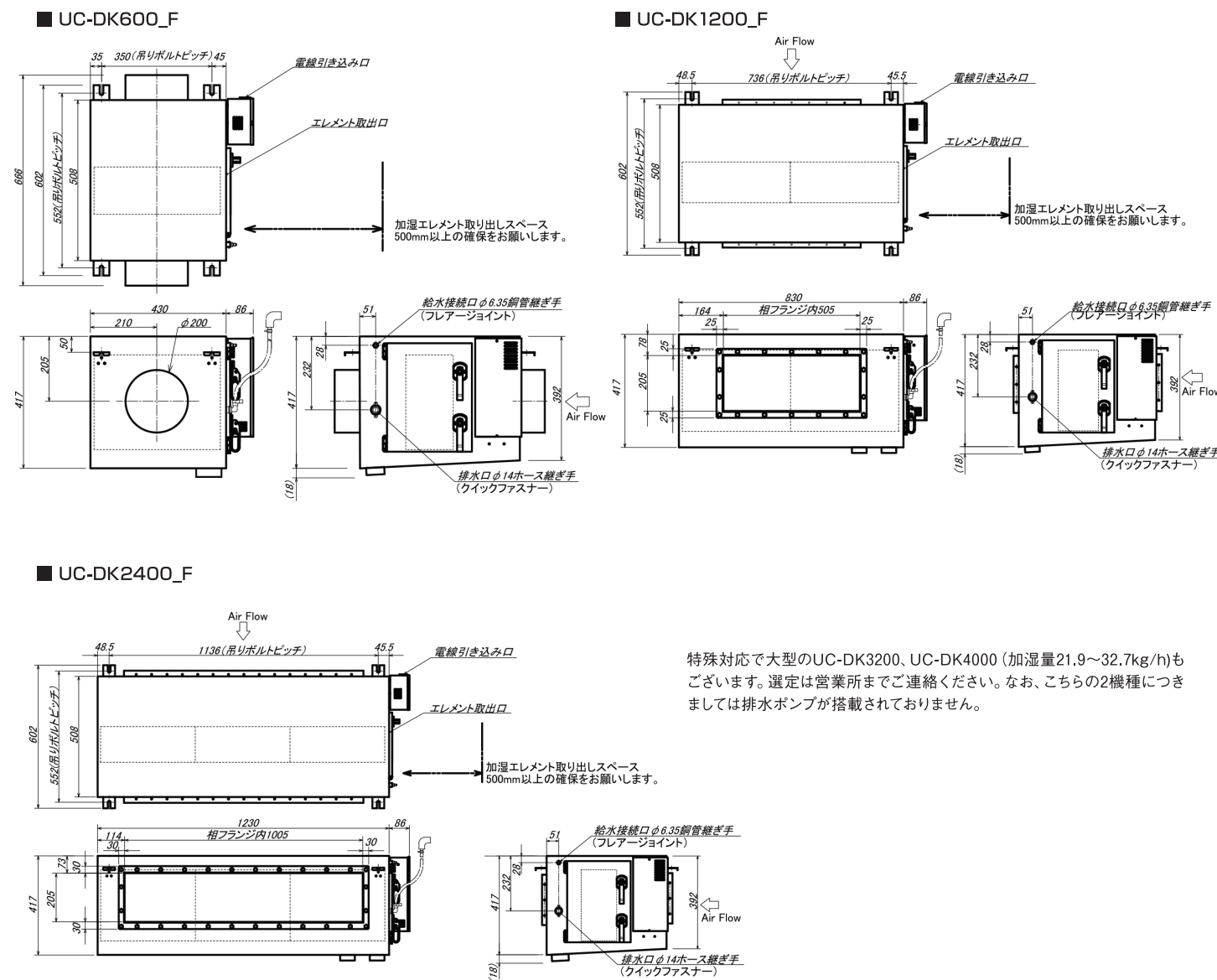
加湿量は吸込空気の温度、相対湿度、風量によって変化します。温度は高い方が、湿度は低い方が加湿量は多くなります。計算値は目安となりますので、詳細な空気条件を計算した上で機器の選定を行ってください。

# Description

# 仕様・外形図

表記の無いものの単位はmmです。

# Specification



特殊対応で大型のUC-DK3200、UC-DK4000 (加湿量21.9~32.7kg/h)もごさいます。選定は営業所までご連絡ください。なお、こちらの2機種につきましては排水ポンプが搭載されておりません。

## 標準仕様

型式 UC-DK	600LF	600HF	1200LF	1200HF	2400LF	2400HF
標準加湿能力	4.2kg/h	5.0kg/h	8.5kg/h	10.0kg/h	16.4kg/h	19.6kg/h
電 源	単相 AC100~200V (50Hz/60Hz)					
消費電力	30W		40W		40W	
標準処理風量	600m <sup>3</sup> /h		1200m <sup>3</sup> /h		2400m <sup>3</sup> /h	
圧力損失	45Pa	55Pa	45Pa	55Pa	75Pa	97Pa
制御方式	ON-OFF制御(無電圧接点)					
外部信号	入力(強制運転信号・強制停止信号:モーメンタリ接点入力、オルタネイト接点入力) 出力(運転信号・一括信号:無電圧接点)					
重量[運転時]	18kg [25kg]		30kg [44kg]		42kg [63kg]	
給水量	0.3L/min		0.6L/min		0.9L/min	
給水水质/給水圧	市水(水道法水质に準拠) 0.08~0.5MPa					
ポンプ排水能力	揚程0.6m 0.6L/min		揚程0.6m 1.2L/min			
周囲条件	5~40℃ 80%RH以下(凍結・結露なきこと)					
付属品	裏表紙参照					

標準加湿能力は、標準処理風量時・吸込空気条件:40℃15%RH時の加湿量です。圧力損失は、標準処理風量時における値です。外部入力信号は該当端子台へ外部湿度調節器(無電圧a接点入力)を入れることも可能です。詳しくは裏面配線図または説明書をご参照ください。

ユーシーコア	
材 質	吸水性高分子複合ファイバー
構 造	ハニカム積層・接着タイプ
耐熱温度	90℃
難燃性	UL94規格 HF-2 相当
衛生面	JIS L-1902 「繊維製品の抗菌性試験」 JIS Z-2911 「カビ抵抗性試験」 食品衛生法に合格

